

北海道・沖縄経済連携ミツション実施報告

「アジアマーケット」の獲得に向けて

北海道・沖縄の相互連携

アジア市場の獲得を目指し、都道府県魅力度ランキング2013（地域ブランド調査）でトップ3にランクインする北海道と沖縄が、相互連携を深める取組を本格的にスタートさせました。

北海道と沖縄は、亜寒帯と亜熱帯の豊かな自然環境に恵まれ、それぞれが固有の地域資源を有する一方で、競合する要素は極めて少なく、相互補完的パートナーシップを構築するポテンシャルの高い地域です。平成24年の直行便就航を機に、「沖縄の物流機能をいかした経済連携」や、「地域の素材を融合させた商品開発」など、北海道・沖縄の経済連携を深めるための交流がこれまでも行われてきました。また、昨年11月に開催された「沖縄大交易会・プレ交易会」には北海道企業も参加し、交流は更に深まってきたところと見られます。

この度、沖縄県産業振興公社の知念理事長を団長とし、沖縄経済界・行政機関等を中心とするミッション団（36名）が、1月13日（月）から15日（水）にかけて、両地域の強みを融合した新事業の展開や販路開拓などの更なる連携強化を目的として

北海道を訪れました。

●訪問メンバー

沖縄県産業振興公社、沖縄県経営者協会、沖縄県農業協同組合、沖縄県商工会議所連合会、日本旅行業協会（沖縄支部）、沖縄県工業連合会、沖縄県物産公社、新垣通商、えんグループ、みたのクリエイト、琉珉珉、ていーだスクエア、全日本空輸、全日空商事、沖縄県、ジェトロ沖縄、内閣府沖縄総合事務局 等

北海道・沖縄広域連携会議

北海道と沖縄の経済交流を深めるため、沖縄からの訪問メンバーと北海道からは、北海道経済連合会（近藤会長）を始めとした経済界及び北海道庁、北海道経済産業局を含む24機関が出席し、両地域の先進的取組を紹介したほか、連携ビジネスの創出等に関する提案がなされました。

支援機関連携協定調印式

北海道科学技術総合振興センター及び沖縄県産業振興公社は、両機関の機能を補完し合うことで、地域経済活性化につながるべく、食品・ライフサイエンス分野における経済交流促進のための連携協定を締結する

こととなり、ミッション訪問と併せて調印式を開催しました。



調印式の様子

企業訪問

小樽の清酒メーカーであり、観光等と連動させたユニークな商品開発を手掛ける「田中酒造株式会社」や、HACCP（対米輸出可）認証工場を有する「ぎょれん総合食品株式会社」を訪問し、工場等の見学を行いました。同行した沖縄企業は、その場で見学先との商談を始めるなど、意欲的な姿勢を見せていました。

北海道知事表敬及び北海道・沖縄交流レセプション

一行は高橋北海道知事を表敬し、北海道関係者のこれまでの尽力に謝意を述べるとともに、引き続き両地域の協力関係の深化に務める旨を説明しました。表敬の後には、知事公館においてレセプションが開催され、

参加者の相互交流が活発に行われました。



高橋知事表敬

今後に向けて

このようなビジネス連携を様々なフェーズで更に拡大発展させ、それらを強力かつ加速的に推進する具体的な仕掛けが今後も継続的に必要であるというのが、本ミッションを終えての参加者の共通的な認識です。沖縄総合事務局は、「オール沖縄」の一員として、引き続き北海道・沖縄が、お互いの強みをいかした戦略を構築し、アジアを始めとする経済成長著しい海外市場へ展開していくための支援を推進してまいります。